



新国立劇場



左より時計回りに：鶴山仁 演出舞台『リチャード三世』『ヘンリー六世・第三部』『ヘンリー四世・第二部』より
(すべて新国立劇場提供)

シェイクスピア祭

He was not of an age, but for all time!

2018年4月21日(土) 13:00~16:30

会場：早稲田大学戸山キャンパス 36号館382教室
[東京都新宿区戸山 1-24-1]

最寄駅からのアクセス

- JR山手線／高田馬場駅 下車 徒歩20分
- 西武新宿線／高田馬場駅 下車 徒歩20分
- 東京メトロ東西線／早稲田駅 下車 徒歩3分
- 副都心線／西早稲田駅 下車 徒歩12分
- 学バス／高田馬場駅—早大正門、馬場下町バス停

一般公開
(予約不要・
入場無料)

13:00~ ご挨拶

13:10~ トーク 「シェイクスピアの史劇、人間史を俯瞰する」

講師 鶴山 仁 氏 (文学座演出家)

聞き手 冬木 ひろみ 氏(早稲田大学教授)

15:00~ 講演 「意味を通じさせること—本文編纂者のシェイクスピア」

講師 金子 雄司 氏 (中央大学名誉教授)

主催 日本シェイクスピア協会・日本英文学会

協賛 早稲田大学文学部

お問合せ先：日本シェイクスピア協会事務局 Tel & Fax: 03-3260-8109
ホームページ：<http://www.s-sj.org>

講演概要・講師プロフィール



「シェイクスピアの史劇、人間史を俯瞰する」

トーク要旨： 利己と利他、忠誠と裏切り、個人と国家、現生の快樂と死後の名誉、影と実体、そして生と死…数限りない二律背反。その対立と矛盾からこそ芝居の、また人生のエネルギーが生まれるという作者の演劇観人生観が、我らの同時代人としての、シェイクスピアの面白さを再認識させてくれます。

『リチャード二世』から『リチャード三世』に至る史劇群を中心に、相反する価値観の衝突を表現するにあたっての現場での経験を、幾分かでも共有できればと思っています。

鵜山 仁 (うやま ひとし) 氏

文学座所属。奈良県出身。精力的な演出活動を続け、日本演劇界を代表する演出家の一人である。83年から1年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在。2010年『ヘンリー六世』(新国立劇場)により第17回読売演劇大賞最優秀演出家賞、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。シェイクスピア作品の演出も多数でがけ、『リチャード三世』『尺には尺を』『ヘンリー五世』(リーディング)『リア王』『トロイラスとクレシダ』『ヘンリー四世』など高い評価を得ている。現在も斬新な企画力と発想で、年々演出ジャンルの幅を広げている中、本年5月には新国立劇場での『ヘンリー五世』が控えている。07年9月～10年8月、新国立劇場の第4代芸術監督(演劇部門)を務めた。

「意味を通じさせること—本文編纂者のシェイクスピア」

講演要旨： 「シェイクスピア産業」と称されてから約1世紀。21世紀に入ってから、英米では、早くも1巻本シェイクスピア全集が既に4種出版されている。ちなみに、シェイクスピア作品校訂版と銘打った本は18世紀初頭に出現するが、同時にそれはシェイクスピア作品編纂者の出現をも意味した。本講演では、初期印刷本にあるさまざまな問題について、編纂者がいかなる解決策を講じて、結果として、そこに意味を通じさせているのかを、最新の全集本で点検する。



金子 雄司 (かねこ ゆうじ) 氏

1942年福島県生まれ。ICU卒業。パーミンガム大学大学院留学を経て、東京大学大学院博士課程単位取得満期退学。中央大学名誉教授。元日本シェイクスピア協会会長。シェイクスピア作品印刷の歴史、本文編纂理論の歴史、および、現在の編纂理論を研究領域としている。

主な著作：*The Restoration Stage Controversy* (The History of British Theatre Series), 6 vols. 復刻版監修・解説執筆 (Routledge, 1996年)、「シェイクスピア本文とは何か」英語青年 (2001年4月号～2002年1月号連載)、「19-20世紀の版本—理論と実践」『シェイクスピア大事典』所載 (日本図書センター、2002年)、「シェイクスピア本文の再生産」『岩波講座 文学1』所載 (岩波書店、2003年)、「シェイクスピア作品の印刷本と本文編纂」日本シェイクスピア協会編『新編・シェイクスピア案内』所載(研究社、2007年)、『19世紀英国家庭のためのシェイクスピア戯曲全集 (*The Family Shakespeare*)』全10巻、復刻版監修・解説執筆 (ユークリカ・プレス、2009年)、『シェイクスピアの「原作」—二〇世紀シェイクスピア本文批評の歴史』(中央大学人文科学研究所、2014年)など。



「シェイクスピア祭」について

日本シェイクスピア協会と日本英文学は、シェイクスピアの生誕を祝うのが慣わしとなっている4月23日(聖ジョージの日)頃にシェイクスピア祭を主催し、講演などを行っています。シェイクスピア協会員でなくてもご参加頂けます。